

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

加納地区

平成23年2月

岐阜県岐阜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	理由	改善策の方向性	総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み							
指標1 歩行者通行量	人／日	6,829	7,200	6,934	確定		△	あり	●	H23年 2月	△	寒さの厳しい時期に計測したほか、直近5年間では増加傾向にある。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前値(平成14年)には届かなかつたものの、計画前年(平成16年)の6,014人から徐々に回復傾向にあり、事業効果が発現したと考えられる。
					見込み	●	△	なし						
指標2 地区別居住人口	人	16,779	17,000	15,549	確定		△	あり		H22年 7月	△	地区内に複数の大規模集合住宅が建築されたことに伴い、上昇した。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	加納地区を含む地区は、長期的に人口の減少が続いているが、平成22年3月時点では前年を上回り流入超となるなど、減少は底打ちしつつある。
					見込み	●	△	なし	●					
指標3 地区別居住世帯数	世帯	6,456	7,000	6,422	確定		△	あり		H22年 7月	△	地区内に複数の大規模集合住宅が建築されたことに伴い、上昇した。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	加納地区を含む地区は、長期的に世帯数の減少が続いているが、平成22年3月時点では従前値を上回り、平成9年当時の水準を回復した。
					見込み	●	△	なし	●					

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	理由	改善策の方向性	総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み							
その他の数値指標1 加納まちづくり会イベント開催件数	回／年	3	6	確定				7	H22年 3月	△	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	地域固有の歴史資産を活用した事業の実施により、自主的なまちづくり活動・イベントが活発に行われ、交流人口の増加やコミュニティの再生が実現した。		
				見込み	●									
その他の数値指標2 地区内祭り等開催件数	件／年	8	10	確定				11	H22年 3月	△	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	事業期間内に始まった「加納の日」は、各事業をうまく活用しながら展開していることが毎年の継続につながり、地域に定着した。		
				見込み	●									
その他の数値指標3 コミュニティバス利用者数	人／月	3,949	7,299	確定				7,067	H22年 3月	△	推計値である評価値には及ばなかったが、年々増加傾向にある。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	バス停周辺の基盤整備による歩行者安全度・利便性の向上、運営協議会を中心とするイベントの際の利用PRの取り組みなどにより、利用者が増加した。	
				見込み	●									

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	少子高齢化に対応した都心生活圏の基盤整備	・整備した道路、案内情報版の適切な維持管理、交通安全活動の啓発の推進 ・加納めぐりコミュニティバスの運行継続	基盤施設の適切な管理、市民団体の交通安全活動などによる安全安心なまちづくりに貢献した。また、コミュニティバスの利用者数も引き続き増勢を保った。	人、車が集まる主要駅周辺地区であることから、今後も、歩行者が安全、安心に移動できる基盤整備に努めていく。
	地域固有の歴史を活かしたまちづくり	・加納城本丸発掘調査の成果を報告書にまとめ刊行し、加納城跡に係る講座を市民団体と共同開催した。 ・旧中山道と加納宿の町並みの保存、活用等のため、会誌の発行、歴史講座等の開催などを行う中山道加納宿文化保存会への補助を継続した。	国指定史跡「加納城跡」を含む中山道加納宿の保護普及により歴史的遺産の保護活動に寄与し、歴史文化の薫るまちづくりに貢献した。	中山道加納宿、国史跡加納城跡を目的とした観光客の増加が見られており、今後も地域住民と協働したまちづくりを推進する。
	歩行者優先の回遊ネットワーク整備	・整備した道路等の適切な維持管理、岐阜駅周辺の放置自転車の防止などにより、安全、安心な歩行空間の整備を進めた。 ・まちづくり団体等により製作された「加納ショギングマップ」や「ぎふしまらなか歩きマップ」の活用、啓発に努めた。	岐阜駅加納口等の歩行者等通行量は目標値等には届かなかったものの、計画前年を底として、回復途上にある。	駅周辺の集客を活かしたイベントの開催などを側面から支援し、まちの賑わいを創出することで、歩行者が回遊できるまちづくりを目指す。
	加納まちづくり会の活動をはじめとした、地域活動の活性化	・加納まちづくり会において、加納の日(講演会、加納ゆかりの寺社めぐり)の開催、和傘教室の開催などを行ったほか、平成22年10月には地元の加納高校の生徒と地区内を流れる清水川の清掃と環境調査を行った。	学生やその親を巻き込んで、より地域一体となつた活動を目指している。	各種イベントを通して、日常的なぎわいの創出を目指していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	旧加納町役場活用事業が完了していない	旧加納町役場について、その老朽化、耐震性能の低さから使用を停止したうえで、耐震性能の向上を中心とする改修方法と施設の利用方法について引き続き検討を行った。	維持、利活用に係る多額の費用から現時点で保存、改修は困難と判断した。	今後跡地利用も含め、活用の方向性を決定する際は、地域住民の理解を得ていく。
	居住人口の増加	地域団体と協働して、自然、文化の薫りが豊かな住環境を維持するとともに、安全、安心なまちづくりを推進し、地域の魅力を向上させた。	民間会社による住宅建設が進み、人口は下げ止まり、世帯数は増加に転じた。	人口、世帯数の流入超を維持していく。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
特に無し			